


児童相談所関連研修「児童福祉司スーパーバイザー研修」

<p>【日時】</p>	<p>令和2年10月19日（月）、26日（月）、27日（火） 12月10日（木）、24日（木）9:00～17:00 25日（金）13:30～17:00</p>
<p>【会場】</p>	<p>特別区職員研修所</p>
<p>【受講者数】</p>	<p>31名</p>
<p>【講師】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都児童相談センター 職員 2名 ・明星大学 人文学部 福祉実践学科 常勤教授 川松 亮 氏 ・千葉県柏児童相談所 職員 ・愛育研究所 客員研究員 山本 恒雄 氏 ・花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科 嘱託准教授 久保 樹里 氏 ・立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 鈴木 浩之 氏 ・日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 林 浩康 氏 ・みなと青山法律事務所 弁護士 馬淵 泰至 氏
<p>【研修内容】</p>	<p><目的></p> <p>児童相談所における指導教育担当児童福祉司（児童福祉司スーパーバイザー）として業務を遂行していくにあたり必要な知識、技能等を習得し、特別区における児童家庭福祉行政を担う職員の専門性の向上を図るため、児童福祉法等関係法令に基づき実施する。</p> <p>研修内容到達目標及びカリキュラム等については厚生労働大臣が定める基準に基づく。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの権利擁護と子ども家庭福祉の現状・課題 ② スーパービジョンの基本（講義） ③ 子ども家庭支援のためのケースマネジメント ④ 子どもの面接・家族面接に関する技術 ⑤ 関係機関（区市町村を含む）との連携・協働と在宅支援 ⑥ 行政権限の行使と司法手続 ⑦ 子ども虐待対応 ⑧ 非行対応 ⑨ 社会的養護における自立支援とファミリーソーシャルワーク

	<p>⑩ スーパービジョンの基本（演習）</p> <p>⑪ 子どもの発達と虐待の影響、子どもの生活に関する諸問題</p> <p>⑫ ソーシャルワークとケースマネジメント</p>	
<p>【受講生の声】</p>	<p style="text-align: center;">＜講義の様子＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なテーマが盛り沢山で充実した研修でした。SVとしての動きを学べたのが良かったです。 ・とても有意義な時間でした。他区や都の職員の皆さんとの交流や情報交換の機会となりました。 ・経験が浅いからと逃げ腰になってはいけないという気持ちになりました。 ・この分野での一流の研究者や学識経験者から教えていただけ良かったです。 ・SVとしての心得、知識など非常に役立つ内容でした。 ・資料も含めて大変勉強になりました。今後も定期的に見直して参考にしたいです。 ・SVとして職員をどのようにフォローしていくのかを学ぶことができました。今までプレイングマネージャーとして係長職をとらえていたため、一緒に面接に入ったり、親と対峙してきましたが、少し違う立場としての要素を取り込んだSVになりたいと思います。 ・今まで経験則で行っていたことに名前がついていることに驚いたり、知らないアプローチを学べて有用でした。 	